



特集

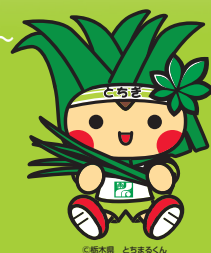
“全国初”「JA全農とちぎ青果物広域集出荷センター」が竣工！
U字工事とイベント開催！栃木米の魅力を県内外へお届け！

トピックス

とちあいか 都内・県内のカフェとコラボ
冬春トマトの統一目揃え会を開催
県内特別支援学校へ県産いちご・トマトを贈呈
豊洲市場で栃木のいちご・野菜をPR！
和牛甲子園に出場したとちぎ和牛を限定販売
エコープマーク品の店舗コンクール開催
フラワーアレンジメント体験教室を開催

CONTENTS

- ・お知らせ
共同購入第3弾！
共同購入コンバイン誕生！！～受注を開始しました～
- ・簡単レシピ
『春野菜と鶏肉のマリネ』
- ・子牛市場情報
- ・JAタウンからのお知らせ
- ・行事予定
- ・編集後記



とちぎ 栃木県 栃木県

JAグループ栃木／JA全農とちぎはSDGsが目指す社会の実現に貢献しています

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「JA全農とちぎ青果物広域集出荷センター」が竣工！

5JAの集荷・販売・物流を一元管理 生産者の負担軽減・所得向上へ



テープカットで完成を祝う関係者ら



1月31日（水）、真岡市石島で「JA全農とちぎ青果物広域集出荷センター」の竣工式を行い、JA・行政・工事関係者ら約50人が出席しました。

同センターは、複数JAが共同利用し複数品目を扱う青果物の集出荷施設としてはJAグループで“全国初”であり、竣工式当日は多くの関係者が集まり、完成を祝いました。

「JA全農とちぎ青果物広域集出荷センター」は、約5万平方メートルの敷地面積に、主にいちご・ナス・アスパラガスを扱うパッケージ棟と、トマト・梨を扱う選果棟を設置し、さらにこの5品目以外の青果物も扱う集荷場も整備しています。しおのや・うつのみや・かみつが・はが野・おやまの県内5JAが共同利用する「集出荷」「選果」「包装加工」の機能を具備した大型施設となります。



施設の外観（パッケージ棟㊸、選果棟㊹）

同センターは、これまで各JAが個別に対応していた集荷・販売・物流を一元管理することで、選果・パック詰めなどの生産者の出荷労力の軽減、販売力と「産地とちぎ」ブランド力の強化、配送効率の向上、出荷資材統一によるコスト低減、施設集約による管理コスト削減、高品質な青果物の安定供給を図ります。



式典で挨拶をする菊地秀俊会長㊺と中村昌文県本部長㊻

「JA全農とちぎ青果物広域集出荷センター」を「核」に、JAグループ栃木の総合力と組織力を結集し、「生産者手取りの最大化」と「生産基盤の維持・拡大」を実現してまいります。

特集

U字工事とイベント開催！ 栃木米の魅力を県内外へお届け！

「ベルモール」でとちぎの星コラボイベント開催！

米麦部・パールライス部は1月27日（土）、宇都宮市の「ベルモール」で、栃木米アンバサダー U字工事を招いた県産米「とちぎの星」のPRイベントを開催しました。

当日は、本県出身の双子のお笑いコンビ「ザ・たち」も応援に駆け付け、U字工事の塗り絵で米袋を作る「とちぎの星」オリジナル米袋作り体験やトークショーに参加していただきました。

U字工事のトークショーでは、ゲストで登場したザ・たちへ「とちぎの星」クイズを出題したほか、楽しい掛け合いで会場を盛り上げ、「とちぎの星」の特徴や魅力をアピールしました。

後半には、ザ・たちが「とちぎの星」のおにぎりを試食し、「ふっくら大粒で甘い！うまい！」と絶賛しました。



トークショーの様子



ザ・たちが「とちぎの星」のおにぎりを試食



オリジナル米袋作り体験をする子供たち



抽選会場の様子

また、ベルモール内のイトーヨーカドー宇都宮店においては特設コーナーを設け、「とちぎの星」購入者を対象に、商品券や栃木米アンバサダー U字工事のノベルティなどが当たる大抽選会を開催しました。抽選会参加者の先着30名様にはU字工事と写真撮影ができる整理券を配付し、「とちぎの星」を買い求めるお客さんで長い行列ができました。

愛知県「プライムツリー赤池」で栃木米販売イベント開催！

2月10日（土）には、愛知県のショッピングモール「プライムツリー赤池」で栃木米の販売イベントを開催し、U字工事によるトークショーや、栃木米購入者を対象とした抽選会、試食配布を行いました。

トークショーでU字工事は「西日本で栃木米をアピールできる機会は少ないので嬉しい」と話し、的確な食レポや栃木米アンバサダーとしての意気込みを語り、栃木米の魅力をアピールしました。

会場で栃木米を購入したお客さんからは「栃木のお米を食べたのは初めて。今回試食をしてみて美味しかったので購入した」「以前に一度だけ食べたことがある。美味しいお米なので家で食べるのが楽しみ」などのコメントをいただき、栃木米の魅力を中京地区の多くの消費者へPRすることができました。

また、今回のイベントをきっかけに、愛知県内のイトーヨーカドーで栃木米が初めて採用されました。今後も中京地区を含めた消費地圏での販促活動を強化してまいります。



トークショーの様子



U字工事自ら試食を配布してPR



小さなお子様も栃木米を試食



抽選会場の様子

とちあいか 都内・県内のカフェとコラボ



「とちあいか」づくしのオリジナルスイーツ販売

園芸部は、「とちあいかカフェコラボ2024」と題して都内・県内のカフェとコラボし、2月8日（木）より県産「とちあいか」を使ったオリジナルスイーツメニューを販売しました。

今回販売した「とちあいかづくしのスイーツプレート」と「とちあいかのパフェ」はいずれも、酸味が少なく甘みが際立つ「とちあいか」を引き立たせる構成で開発され、スイーツプレートは都内の「Afternoon Tea TEAROOM」15店舗と東武宇都宮店を含む計16店舗、パフェは宇都宮市にある「ISLAND STONE COFFEE ROASTERS宮みらい店」にてそれぞれ期間限定で販売されました。



販売に先駆けて、2月7日（水）にはメディア向けの先行発表会を都内で開きました。栃木いちご消費宣伝事業委員会の池田委員長や荒井園芸部長が出席し、本企画の経緯やとちあいかの魅力などを説明しました。スイーツプレートの試食会後には、栃木のいちご大使コリラックマも登場し、会場を盛り上げました。

池田委員長は「とちおとめに代わる品種のとちあいかを中心に、生産拡大・販路拡大に努めている。カフェコラボをきっかけに、より多くの人に知って、食べてほしい」と挨拶しました。



メディア関係者の前で説明をする池田委員長

冬春トマトの統一目揃え会を開催



園芸部は2月8日（木）、「令和6年産栃木冬春トマト第2回統一目揃え会」を開催し、各JAのトマト部会長や県、市場関係者など約50名が出席しました。

本会からは生育状況を説明した上で、適切な温度管理やかん水など暖候期に向けた今後の栽培管理のポイントを共有しました。販売情勢としては、2月中旬以降は若干の数量減が見込まれるものの、春作の出荷数量増加も踏まえた慎重な売り込みが続く見込み、等の報告をしました。その後、出荷規格や申し合わせ事項の確認、カラーチャートを用いた現物目揃えを行い、選果・選別に注意することを再確認しました。

各産地からは「昨年よりはやや大玉傾向」「徐々に量が増え、今後は順調な出荷を見込んでいる」との報告があり、市場関係者からは「量販店でのフェアや販促などに力を入れ、おいしい栃木のトマトの売り場を広げていく」など今後の販売に向けての力強いコメントがありました。



現物目揃えでカラーチャート市場着「8」を確認

県内特別支援学校へ県産いちご・トマトを贈呈



栃木いちご消費宣伝事業委員会と栃木トマト消費宣伝事業委員会（両事務局：全農とちぎ）は、2月に県内16校の特別支援学校へ県産いちご・トマトを贈呈しました。毎年、食育や地産地消の推進に向けた活動の一環として農産物を贈呈しており、いちごは29回目、トマトは20回目を迎える歴史ある取り組みです。

2月7日（水）には、栃木県JAビルで贈呈式を行い、県内の特別支援学校を代表して県立のざわ特別支援学校の石井亮校長にご出席いただき、本会の中村県本部長と佐藤副本部長よりいちごとトマトが贈られました。

中村県本部長は「生産者の思いが詰まった美味しいいちごとトマトを食べて、明るく元気に学校生活を送ってほしい。これをきっかけに美味しさを実感して、末永く県産農畜産物のファンになってほしい」と話しました。

のざわ特別支援学校の石井校長からは「いちごとトマトを子どもたちは毎年楽しみにしている。生産者の努力や想い、地産地消の大切さも伝えていきたい」と感謝の言葉をいただきました。

今回贈呈したいちごとトマトは2月7日（水）、8日（木）の学校給食として提供されました。



中村県本部長、佐藤副本部長から石井校長（右）へいちごとトマトを贈呈

豊洲市場で栃木のいちご・野菜をPR！

園芸部は2月9日（金）、東京都中央卸売市場 豊洲市場で、買参人や市場関係者に向けた栃木のいちごと野菜のPRを行いました。

販促資材で装飾した会場では、栃木いちご消費宣伝事業委員会の池田委員長のビデオメッセージの放映や、いちご3品種（とちあいか・とちおとめ・スカイベリー）と、トマト・アスパラガスなどの5種類の野菜の現物展示などを行いました。

来場された市場関係者に対しては、園芸部の荒井部長やとちぎフレッシュメイトが挨拶を行い、産地の想いと県産青果物の魅力を伝えました。

また、会場ではノベルティやいちご3品種の食べ比べができるサンプルの配布を行い、多くの市場関係者の注目を集めました。



挨拶をする荒井部長



とちあいか・とちおとめ・スカイベリーの試食を配布

和牛甲子園に出場したとちぎ和牛を限定販売



量販店・焼肉店・精肉店で高校生がPR

畜産部は、1月に開催された「第7回和牛甲子園」に出場した県内6校の高校生が育てたとちぎ和牛を県内の量販店・焼肉店・精肉店などで販売し、高校生と協力して「とちぎ和牛」の県内における認知度向上、消費拡大に努めました。

量販店

「たいらや鹿沼店」では2月3日(土)から、鹿沼南高校の生徒が育てたとちぎ和牛を数量限定で販売しました。販売初日には、育てた生徒が自ら店頭立ち、お客さんに試食を勧めながら購入を呼びかけました。

「フードオアシスOTANI」では、2月10日(土)から県内14店舗で宇都宮白楊高校、真岡北陵高校の生徒が育てたとちぎ和牛が販売され、同じく販売初日には高校生らが自ら店頭でPRを行いました。



たいらや

購入を呼び掛ける鹿沼南高校の高校生たち



フードオアシスOTANI

宇都宮白楊高校



フードオアシスOTANI

お客さんへとおちぎ和牛を勧める様子(真岡北陵高校)

焼肉店

また、「焼肉レストラン大陸食堂」、「レーン焼肉タイリクショックドール」では、2月5日(月)～2月29日(木)の期間、「大陸食堂×和牛甲子園」のコラボメニューとして、カルビやサーロインなどの限定メニューが提供されました。ここでは、宇都宮白楊高校、鹿沼南高校、真岡北陵高校の生徒が育てたとちぎ和牛が提供されました。

精肉店

「和気精肉店」、「山久矢板店」の県内2カ所の精肉店では2月23日(金・祝)、それぞれ那須拓陽高校、矢板高校の生徒が店頭立ち、来店されたお客さんに「とちぎ和牛」のPRや試食販売を行いました。



和気精肉店

那須拓陽高校



山久 矢板店

矢板高校

この期間、フードオアシスOTANIと大陸食堂では、和牛甲子園出場牛をご購入・ご注文いただいたお客様を対象としたプレゼントキャンペーンも実施しました。

各地での販促活動を通して、多くのお客様へ「とちぎ和牛」の美味しさ・魅力や、県内の和牛飼育に取り組む高校生の活動をPRすることができました。

エコープマーク品の店舗コンクール開催

活気のある売り場づくりと利用者に親しまれる店舗づくりを目指して

くらし支援部栃木推進課は、エコープマーク品の「重点推進品目店舗コンクール」を開催し、春夏秋冬の年4回に渡り審査を行いました。エントリーした県内9JA約40店舗（営農経済センター、直売所）は、活気のある売り場づくりと利用者に親しまれる店舗づくりを目指して、対象商品の陳列を行い売場の活性化、売上向上に努めました。

展示部門では「陳列場所」「価格表示」「販促資材」「展示内容」「CP告知」「商品知識」の6項目、販売部門では対象品目の前年比（数量ベース）にて審査を行い、厳正な審査の結果、年間を通じ優秀な成績をあげた【展示部門：JAしおのや 農産物直売所さくら】、【販売部門：JAしおのや 湧水の郷しおや】が見事、最優秀賞を受賞しました。

直売所さくらの磯田店長からは「スタッフ皆で色々考えて展示したので、成果が出てうれしい。お客様に手に取ってもらえる工夫をこれからも続けていきたい」、湧水の郷しおやの栗原店長からは「スタッフさんたちが、積極的にお客様に声をかけて商品の説明をしてくれたことで売上が伸びたと思う。次回もスタッフ一同がんばりたい」と力強いコメントをいただきました。

最優秀賞店舗には、國分課長、津久井課長から各店長に表彰状と記念品の贈呈を行いました。

【展示部門】

	JA名	直売所名
最優秀賞	JAしおのや	直売所さくら
優秀賞	JAかみつが	奈佐原直売所
優秀賞	JAかみつが	小林直売所



展示部門最優秀賞：直売所さくら



販売部門最優秀賞：湧水の郷しおや

【販売部門】

	JA名	直売所名
最優秀賞	JAしおのや	湧水の郷しおや
優秀賞	JA佐野	葛生ほっとコーナー
優秀賞	JAうつのみや	グリーンかみかわち

フラワーアレンジメント体験教室を開催

「花と苺のフェスティバル」でとちぎの花をPR

2月11日（日）、12日（月）の2日間、とちぎ花センターにて、花の普及促進を図る「令和5年度花と苺のフェスティバル」が開催されました。同センターを「とちぎの花」の飾花展示で彩り、花苗が貰えるスタンプラリーや鉢物や切り花の特別販売等の各種イベントにより多くの来場者で賑わいました。

園芸部は栃木県産花きの認知度向上・販売促進のため、県内生花店の方を講師として呼び、「家でも簡単にできるフラワーアレンジメント講座」と題しアレンジメントの体験教室を実施しました。2日間で約80組の参加者に県産花きを使用したアレンジメントを作成いただきました。参加者からは「新たな飾り方が知れて勉強になった」や「手軽にできたため今後家でも作ってみたい」といった声をいただきました。



参加者が作成した
アレンジメント



フラワーアレンジメント体験教室

今後もより多くの方に日常的に「とちぎの花」を使用していただくよう、今後もPRしてまいります。

お知らせ

共同購入
第3弾!

共同購入コンバイン誕生!! ～受注を開始しました～

JA全農は、第1弾の大型トラクター、第2弾の中型トラクターの共同購入に続く第3弾として、コンバイン(4条刈、50馬力クラス)の型式を決定しました。

今回の取り組みでは、コンバインについて7,000人以上の稲作生産者にアンケートを実施し、そこで寄せられた声をもとに仕様を決定しました。

厳選された必要な機能に絞ることで、生産者の購入価格は現行の4条刈50馬力クラスのコンバインと比較し、おおむね15～18%程度の引き下げ(※)を実現しました!

詳しくは最寄りの農機センターまでお問合せ下さい。
(各センターの連絡先は本誌裏表紙に記載)

(※) 価格引き下げ率は地域により異なります。

注文いただいてから納品まで4ヶ月程度かかります。
令和9年5月までにご注文をお願いします。

型式 YH448AEJU

メーカー希望小売価格 737万円(税込)

主な機能

機体が左右に傾いても水平に保つ
湿田作業でもなめらかな旋回と安定した直進
ができる



4条刈り
48.4馬力

春野菜と鶏肉のマリネ



ポイント!



栃木推進課 管理栄養士
松原舞子さん

アスパラガスには新陳代謝を促し、疲労回復に効果のあるアスパラギン酸が多く含まれています。アスパラギン酸は、タンパク質の合成を高める働きもあり、美肌効果も期待できます。

(アドバイス表2023年3月あじわいコースP31)

〈材料〉(2人分)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ・鶏モモ肉……………300g | ・レモンの皮(すりおろす) … 適量 |
| ・塩……………ひとつまみ | ・黒こしょう……………少々 |
| ・ローズマリー……………適量 | ・オリーブオイル……………大さじ2 |
| ・オリーブオイル……………大さじ1 | ・レモン汁・はちみつ 各大さじ1/2 |
| ・アスパラガス……………1束 | ・レモン(半月うす切り) … 8枚 |
| ・玉ねぎ(くし形切り) ……1/2個 | ・塩……………少々 |

■作り方■

- 1 鶏肉は一口大に切り、ポリ袋等に入れて塩で下味を付ける。アスパラガスは根元の硬い部分をピーラーで剥き、お好みの厚さで斜め切りにする。
- 2 フライパンにオリーブオイルとローズマリーを入れて弱火で熱し、香りが立ったら鶏肉を皮目が下になるように入れる。ふたをして蒸らすように焼き、焼き色が付いたら上下を返して火を通し、大きめのボウルにローズマリーと一緒に取り出す。
- 3 玉ねぎとアスパラガスはそれぞれ食感を残すように少し硬めに茹でて、水気をしっかりと切り、②のボウルに入れる。
- 4 ④を全て器に入れ、泡立て器等を使ってしっかりと混ぜ合わせる。②のボウルに加えてさっくりと混ぜ合わせ器に盛り付ける。
- 5 レモンの皮と黒こしょうを振りかける。

ふれあい食材についてはこちらから!





子牛市場情報

令和5年度2月矢板家畜市場成績書

	性別	上場頭数	成立頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重(日令)	単価(kg)	前回比
1日	雌	185	181	897,600	205,700	504,480	283(292)	1,777	-19,026
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	217	217	1,054,900	260,700	689,806	317(292)	2,175	-14,993
	合計	402	398	1,054,900	205,700	605,525	301(292)	2,005	-19,846
2日	雌	145	143	854,700	176,000	559,907	291(292)	1,923	64,286
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	181	180	1,096,700	124,300	690,036	318(290)	2,163	16,714
	合計	326	323	1,096,700	124,300	632,425	306(291)	2,062	40,845
2月期合計	雌	330	324	897,600	176,000	528,943	287(292)	1,843	18,719
	雄	—	—	—	—	—	—	—	—
	去勢	398	397	1,096,700	124,300	689,910	317(291)	2,169	-588
	合計	728	721	1,096,700	124,300	617,576	304(292)	2,031	7,891
概況	2月の矢板家畜市場は、728頭上場にて721頭が成立し、前年同月比25頭減となりました。平均価格は対前月比雌18,719円高、去勢588円安となりました。多数の購買者にご来場いただき特に雌牛については活発な取引となりました。								
	購買者数 1日目：146人 2日目：141人								

○次回開催/2024年3月7日～8日 出場予定:各350頭(2024年4月の開催は、1日・2日です。)

とちぎ新鮮倉庫からのお知らせ



季節商品のご紹介

「うど」

JAなすの産の「那須の春香うど」の登場です！春を告げる「うど」、「軟化うど」と「山うど」の2種類をご用意いたしました。それぞれにあったレシピも紹介しておりますので、是非ご参考にしてください！

他にも厳選した『とちぎの味』を取り揃えております♪

JAタウン



とちぎ新鮮倉庫

検索

3月の行事

- 7日(木) 矢板子牛市場 畜産部
- 8日(金) 矢板子牛市場 畜産部
- 16日(土) JA全農杯サッカー大会in関東 1日目
- 17日(日) JA全農杯サッカー大会in関東 2日目



★15日(金) CRT栃木放送(7:33～)

編集後記

3月になり、段々と暖かくなってきました。いよいよ「春が来た！」という感じがしますね。桜の開花ももうそろそろで、お花見をするのがとても待ち遠しいです。花粉症の方はつらい時期になりますね…(^^);

令和5年度も今月で終わりです。今年度をしっかり振り返って、4月からの新年度に備えたいと思います。(みう)

今年度もお愛読いただきありがとうございました。



共同購入コンバイン
誕生!!全国7千名以上の
稲作生産者の声を反映4条刈り
48.4馬力
(ネット)

型式

YH448AEJU

メーカー希望小売価格

737万円(税込)

主な機能

- 車体水平制御

機体が左右に傾いても水平に保つ

- 常時駆動方式(FDS)

湿田作業でもなめらかな旋回と
安定した直進ができる

- 自動こぎ深さ制御

オーガ自動制御
(旋回・収納)

- 刈取オートクラッチ

- 掻きこみペダル

- 手こぎ安全装置

オートデセル
(エンジン回転自動制御)

- 無給油で概ね1日作業
(おおよそ6時間を想定)が
おこなえる燃料タンク(43ℓ)



SIDE



BACK

お問い合わせは JA 農機センターまで

JAなすのサービス(株) 大田原農機センター TEL.0287-22-6858
 JAなすのサービス(株) 黒磯農機センター TEL.0287-63-4773
 JAかみつがサービス(株) 日光農機センター TEL.0288-30-1191
 JAかみつがサービス(株) 鹿沼農機センター TEL.0289-75-4861
 JA佐野 農業機械課 TEL.0283-61-0222
 JA足利サービス(株) TEL.0284-71-1110

JA全農とちぎ はが野広域農機センター TEL.0285-83-8025
 JA全農とちぎ しもつけ広域農機センター TEL.0282-29-7033
 JA全農とちぎ なす南広域農機センター TEL.0287-82-0055
 JA全農とちぎ おやま広域農機センター TEL.0285-38-2029
 JA全農とちぎ しおのや広域農機センター TEL.028-612-3420
 JA全農とちぎ うつのみや広域農機センター TEL.028-663-2651

注文いただいてから **納品まで4ヶ月程度** かかります。
 令和9年5月までにご注文をお願いします。

JAグループは生産者の需要を取りまとめ、一括発注を行うことで、メーカーは製造・流通の効率化をはかり、生産者へ価格メリットを還元します。



JAグループ栃木 / JA全農とちぎ

この印刷物は環境にやさしい植物油
インクと再生紙を使用しています。

私たち全農グループは、**生産者と消費者を
安心で結ぶ懸け橋** になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。